

第4期苫小牧市役所エコオフィスプラン運用実績（令和6年度実績）

第4期苫小牧市役所エコオフィスプランに基づき、市役所全施設の事務・事業活動に伴うCO₂排出量を公表します。また、参考値として、エネルギー使用量についても公表します。

令和6年度のCO₂排出量は52,300 t-CO₂となり、基準年度に比べ20.3%の減少となりました。

1 CO₂排出量について

表 排出区分別CO₂排出量

	基準年度(25年度)	令和6年度		目標値(令和12年度)	
		t-CO ₂	t-CO ₂	増減 (基準年度比)	t-CO ₂
市長部局	34,916	28,141	-19.4%	-	-
教育部局	11,264	10,344	-8.2%	-	-
自動車	594	488	-17.9%	386	-35%
エネルギー起源CO ₂	46,774	38,973	-16.7%	22,628	-51%
非エネルギー起源CO ₂	18,878	13,327	-29.4%	14,159	-25%
合計	65,652	52,300	-20.3%	37,173	-43%

※電力・熱のCO₂排出係数は、令和6年度は令和5年度供給実績（公開時点最新）の値を使用しています。

【内訳】電力は株北海道電力の公表値0.000535t-CO₂/kWh、熱は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」で定める代替係数0.0532 t-CO₂/GJを使用しています。

なお、CO₂排出係数とは電力1kW又は熱1GJを消費したときのCO₂排出量を表します。

<エネルギー起源CO₂>

エネルギー起源CO₂の排出量は基準年度と比べて16.6%減少しました。

理由として、株北海道電力のCO₂排出係数の改善や、照明設備のLED化が進んだことが挙げられます。

<非エネルギー起源CO₂>

非エネルギー起源CO₂の排出量は、市が収集した一般廃棄物に含まれるプラスチック類及び合成繊維類の焼却により発生したもので、基準年度と比べて29.4%減少しました。

理由として、平成25年7月から開始した家庭ごみの有料化により分別の意識が高まり、プラスチック類の焼却量が大幅に減少したことが挙げられます。

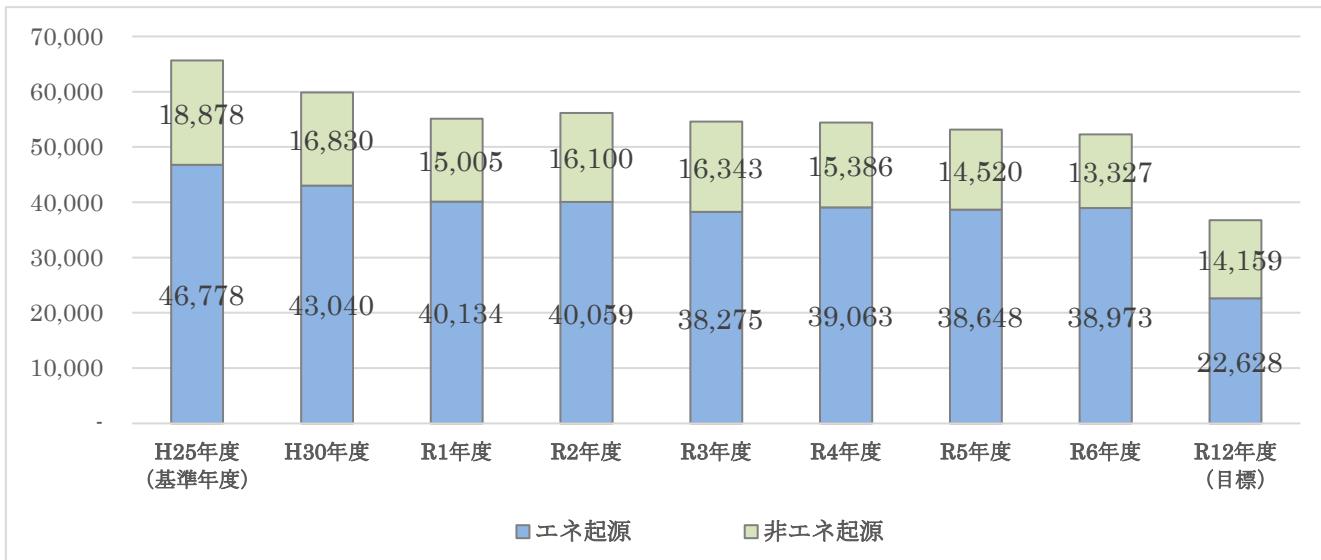


図1 CO₂排出量の推移